

編集後記

先日、元センター長の根元義章教授の最終講義を聴講しました。根元先生は、大型計算機センター（情報シナジーセンター）の助教授・教授あるいはセンター長を長年務められ、その間あるいはその後も、常にセンターのあるべき姿や進むべき道を示され、牽引されてきました。現センターのほとんどの教職員は先生からの薫陶を受け、その教えは今もセンターのスパコン運用の確固たる礎になっており、それが現在の SX-9 の高い利用率につながっていることには疑いがありません。

最終講義のタイトルは「継承と創出」でした。今後もこれまでのセンターの優れた伝統を絶えることなく継承し続け、その上で、新しいセンターを創出していくことが大事であると、新年度を迎えるにあたり改めて思い直した今日この頃でした。（なんだか今回は堅い文章になってしまいました。）幸いにして、今後も根元先生は、東北大学の理事として引き続き手腕を振るわれます。恩返しできるようなセンターの一員になるよう、努力したいと思います。（T.M）

この3月でシステム管理係長と会計係長が定年退職されました。システム管理係長は記事にもありますように学内の計算センターから始まり、大型計算機センターそして現在のサイバーサイエンスセンター（情報部情報基盤課）と四十数年間に亘り利用者サービスに尽くされてきました。会計係長は最後の3年がセンターで勤務となり大学そしてセンターの変革に尽力されました。両係長とも、本当にありがとうございました。

今月号の記事に、Gaussian を利用しての研究成果が報告されています。Gaussian はセンターで提供しているアプリケーションの中でも利用頻度の高いものの1つです。このアプリケーションを使用して、「2ヶ月間に亘り多量のジョブを実行し、ひとつの研究成果を挙げる事ができた。」とありますが、センター職員としては何よりの報告です。（E.I）

SENAC のサイズの変更について

昭和43年の発刊以来 SENAC のサイズは B5 判を採用してまいりましたが、編集部会にて約半年をかけ検討の結果、時代の趨勢、執筆者の便宜等もかんがみ前号 (Vol.42, No.1) より A4 判に変更いたしました。

SENAC 編集部会

小林広明 曾根秀昭 水木敬明 後藤英昭 江川隆輔
伊藤英一 山内 斎 小野 敏 大泉健治 斉藤くみ子

平成 21 年 4 月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578
印刷 大成印刷株式会社